

12/9(日)am9:00-10:00第一会場
(展示ホールB) 特別講演3

修行とは 何のためにあるのか

柳澤 眞悟 阿闍梨

(権大僧正)

金峯山寺副住職

金峯山修験本宗「成就院」住職

特別講演3について

柳澤 慎悟阿闍梨は、35歳で「大峯千日回峰行」を戦後初めて満行。

昭和59年には、断食・断水・不眠・不臥を9日間続ける「堂入」（四無の行ともいわれる）を満行。

平成元年、笙の窟百日籠山行を満行。

その後、寺内において2度の百日籠山行を満行。

現存する僧侶の中で恐らく群を抜く修行を行い、現在も行を重ねる中で、行の中から溢れ出る生死への思いを著作でも発信されておられます。

生老病死にまどい、ストレスフルな人生を送る我々に先達からのメッセージを頂ける貴重な機会となります。

演者プロフィール

- 昭和23年長野県茅野市にて生まれる。
- 25歳で吉野山金峯山寺に入寺。
- 35歳で「大峯千日回峰行」を戦後初めて満行。
- 千日回峰とは、奈良県・吉野山の金峯山寺蔵王堂から大峯山上ヶ岳（標高1719メートル）にある山上蔵王堂までの山道を、往復48キロ、山上蔵王堂の戸開期間中143日を1日も休まず歩き続け、8年かけて満行する行のこと。
- 昭和59年には、断食・断水・不眠・不臥を9日間続ける「堂入」（四無の行ともいわれる）を満行。平成元年、笙の窟百日籠山行を満行。その後、寺内において2度の百日籠山行を満行。
- 平成22年に権大僧正。現在は金峯山寺副住職、金峯山修験本宗「成就院」住職を務める。
- 著書：『修行とは何のためにあるのか』（よろず医療会ラダック基金）

柳澤 眞悟 阿闍梨

